

Q 鶴ヶ島市の気候変動 適応策は

おおの ひろこ
大野 洋子 議員



A 第3期鶴ヶ島市環境基本計画に 反映していく

問 これまで環境を軽視してき

たことで、回り回って大きな経済的、社会的損失をもたらすという点で、ウイルス感染症と気象災害は共通している。

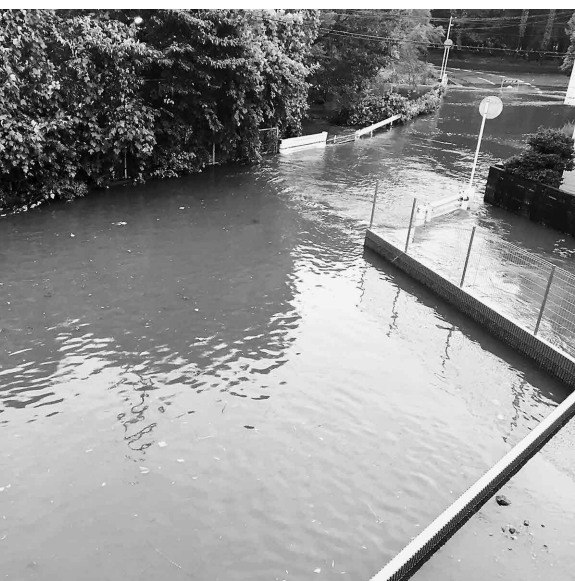
異常気象と地球温暖化は切り離して考えることはできない。

世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保ち、1.5度に抑える努力を追求することは国際的な枠組

みである。

本市の温暖化対策の取組と気候変動適応策を問う。

答 市の事務事業に関する令和元年度の二酸化炭素排出量は、庁舎の照明や防犯灯のLED化などにより6・5割の削減となったが、一部施設では気温の上昇などにより空調設備の使用時間が延び、増加している。今後、区域内全体の温室効果



市内の被害状況

ガス排出量の約6割を占める事業所への地球温暖化対策の周知が必要である。
地球温暖化は、災害だけではなく、健康被害や農業被害まで影響があることを踏まえ、次期環境基本計画を策定する際には、より広範な範囲で関連する課も加えて、実際の調査や検討の段階から一緒につくっていきたい。

◎**その他の質問** 新型コロナのある社会の自治体の役割

Q コロナ禍での臨時休業 後の学校

いしづか せつこ
石塚 節子 議員



A 少人数指導の充実を国や県に要望 していく



学校再開後の授業風景

問 臨時休業中の子どもたちの

学びの遅れと学力格差について。

答 学力の状況は、課題の取組

状況や分散登校時の授業やテスト

の結果で把握した。再開後は

遅れや格差が生じないように、

きめ細やかな授業の実施に努め

ている。

問 不安やストレスを抱えている

児童・生徒の状況は。

答 スクールカウンセラーやさ

わやか相談員などと連携を図り

つつ、組織的に支援している。

問 学校でのコロナ対策は。

答 毎日の検温と健康観察、う

がい、手洗いの励行等を行って

いる。さらに、教室の換気やマ

スクの着用などにより、感染症

の予防に努めている。

問 学習内容の精選は。

答 取り扱う時期や順序等を見

直し、効率よく授業を進めるよ

う指導している。

問 学校行事などの削減は。

答 安易に中止にせず、延期又

は内容を変更して実施すること

を基本方針としている。

問 少人数学級に向けた動きは。

答 知育、徳育、体育を子ども

たちに身に付けさせるためには、

少人数による学級編成が有効で

ある。なお、少人数指導を充実

させるための教員の増員は、引

き続き国や県に要望していく。